

# 謹賀新年

WINTER/KWUT/SUMMER/ONJUS SPRINGEJWWS/AUTUMNJEJNA WINTER/KWUT

## 2019年 年頭のごあいさつ



自治労福島県本部  
中央執行委員長  
志賀 一幸

### 2019年新年を迎えて

あけましておめでとうございます。新年にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

組合員とご家族の皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は福島県本部に対し、多大なご協力を頂き誠にありがとうございます。心から感謝を申し上げます。

さて、昨年10月2日、第4次安倍内閣が発足しました。安倍政権の暴走は数の力を背景に極めて不十分な国会審議のもと、働き方改革法案、カジノ法案、入管難民法案などの重要法案を強行採決しました。民主主義をないがしろにするこのような国会運営の中、いよいよ本丸である憲法改悪の発議に向け突き進もうとしています。平和と民主主義を守るため、何としても今年の参議院選挙では、岸まき（立憲民主党）・吉田ただとも（社会民主党）両予定候補者の当選を勝ち取らなければなりません。そして統一自治体選挙においても、組織内・推薦候補全員の当選を目指し、取り組みの強化をはかってまいります。

また、県内各自治体等における職場環境の実態は、業務量に見合う適正な人員配置には程遠い状況であり、人員の確保や労働安全衛生活動の活性化など、労働者の視点での働き方改革を取り組むことが必要不可欠となっております。同時に、臨時・非常勤等職員の処遇改善については、2020年4月からの会計年度任用職員制度の実施に向け、交渉・協議を進める重要な年となります。

結びに、住民の安心・安全を守るため自治体労働者に期待される役割は大きいものがあります。地域社会の活性化、地域住民の安心、安全確保につながることを確信し、自治労運動を職場と地域から進めて行きます。

県本部は、2019春闘を民間の仲間と共にとたかたい、確定期、各級選挙、諸課題の前進のため、あらゆる取り組みを実施する決意です。

組合員のみならずのさらなる結集と昨年以上のご支援をお願いし年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

WINTER/KWUT/SUMMER/ONJUS SPRINGEJWWS/AUTUMNJEJNA WINTER/KWUT

# 県本部青年部・女性部の取り組み

新年を迎えるにあたり、県本部青年部・女性部役員の方に参集願  
い、①18年の活動を振り返って、②新年を迎えるにあたっての抱負、  
③19年の主な活動内容(特徴的なもの)、④第25回参議院議員選挙闘  
争・統一自治体選挙闘争の取り組みの4点について、県本部志賀委  
員長の進行で伺った。



**青年部**  
**平林 雄太**  
部長  
出身単組 土地連労組  
組合略歴 支部青年女  
性部(2015)、務  
本部長(2017)、  
青年部(2018)

**志賀委員長** 本日は、年末のお忙しいところ、ご参集いただきありがとうございます。早速ではあります、事前にお知らせした4点について、皆さんからご発言願います。まずは青年部平林さんからお願います。

**平林部長** まず①ですが、全国の仲間が集まる自治労働青年女性中央大交流会(中央交)に県本部として多くの仲間と参加したことです。特に反合理化職種別分散会では全国の同じような職場の方たちと実態を持ち寄り、確認し合うことで状況やより良い職場環境の実現など、新しい発見がありました。また、比較による福島県の低賃金の実態や、職場の慢性的な長時間労働・人員不足の実態も確認できました。こうした状況に対して、改善・解決に向けて労働組合・青年部として声をあげて取り組むことが大切だと再確認できました。

もう一つは、県本部青年部の組織体制についてです。県本部青年部では、四役に空席があった状況から役員体制の改善を進め、17年に続き、18年も総支部のバランスを考慮した上で、四役・役員選出をお願いし、これまでよりも多くの単組から役員を輩出いただきました。このことにより、学習会や集会にも多くの単組の参加が得られました。やはり、他の単組と交流しないと見えてこない部分というのが重要だと思いつつ、

青年部としてけん引していきたいと思つています。次に③ですが、一つは、例年開催している女性部と合同の学習交流会(労働学校)です。県本部青年部では、これまでも確定期、春闘期、年度初めと年3回の学習交流会を開催してきました。呼称を労働学校から学習交流会とし、参加しやすい体制づくりを行ってきましたが、開催内容が分かりづらい、「学習の内容が難しい」といった声も聞かれました。そこで、開催時期ごとに学習内容や参加対象組合員をより明確にし、単組からどういった仲間を送

り出せばいいのか、分かりやすい取り組みをより強化することを考えています。また、開催頻度の少なかつた市町村の会場で開催することにより多くの仲間や単組に関心や興味を持ってもらえることを目指します。

2つ目は、青年部女性部部長会議の開催です。昨年までの部長会議では、一方的な報告の形となつてしまつて「会議」の形になりづらい状況にありました。そこで短時間ながら分散会形式とし、課題について話し合う時間を設けることで、各単組の意見が聞き取りやすくなり、単組間の交流にも繋がりました。19年も継続していきたいと思つています。

我々の職場条件や労働環境に議会が及ぼす影響を認識してもらい、「無関心でも無関係ではない」ことを青年の仲間達に広めながら、まずは主体的な「意識」を持ってもらうことを、学習会や総会の中で発信していきたいと考えています。

青年部は経験や知識の不足する部分は少なからず出てしまつています。そうした学習の点で今後ともサポートいただきながら運動の前進につなげたいと思つています。

また、県本部や他の補助機関とも連携をはかり、労働組合の最大の武器である団結を活かしながら取り組みを進めますので、よろしくお願ひします。

**志賀委員長** 続いて、女性部近藤さんからお願ひします。

**近藤部長** まず①ですが、18年は、女性部の組織強化を図るため、従来の三役に事務局次長を加えた四役とし、各総支部選出の常任委員とともに、18名の役員体制で活動をスタートさせました。

各種集会和学習会など青年部と連携しながら活動に取り組むとともに、自治労働青年女性中央大交流会や東北地連女性集會などへの参加を通して、県内のみならず県外の青年部・女性部の皆様とも交流を深めることができた一年だったと思つています。特に、11月に行われた神奈川県本部女性部による東日本大震災被災地の現地視察では、浜総支部の単組女性部のご協力により、意見交換会やフィールドワークを通して、福島県の現状や思いをお伝えすることができ、とても有意義な学びと交流の場となりました。18年の活動にご協力いただいた皆様にご心より感謝申し上げます。

続いて②です。役員の担い手不足や活動への参加意識の低下など、労働組合を取り巻く環境は厳しい状況にあります。特に、集會等における女性の参加率は目標の30%に達しておらず、活動への参加促進が大きな課題となっております。最近では、「労働組合は必要なの?」「どのような活動をしているのかよく分

からない」という声を耳にすることがあります。安心して働き続けられる職場づくりのためには、思いを共有できる仲間づくりとその仲間が集える場が必要であり、その役割を担うのが労働組合だと思つています。



**女性部**  
**近藤 直子**  
部長  
出身単組 白河市職労  
組合略歴 支部副部長  
単組女(2017)、  
性部長(2018)

安心して暮らせる社会となるよう、政治に無関心にならず、選挙の取り組みを通して私たちの声をしっかりと国政に届けましょう。

女性部は、役員の選出が困難な時代があり、現在も青年部の協力をいただきながら活動しているのが実情です。組織強化・活性化の課題はすぐに解決できることではありませんが、少しでも良いかたちで次世代にバトンをつなげられるよう活動に取り組みでまいりますので、今後ともお力添えをお願いします。

**志賀委員長** 続いて、青年部中村さんからお願ひします。

**中村副部長** まず①についてです。あつという間だったなというのが率直な感想です。18年から青年部副部長の任に当たらせてもらいましたが、平林部長をはじめ良いメンバーにも恵まれ、楽しく活動をさせていただきました。活動の中で特に印象的だったのは自治労働青年女性中央大交流会(中央交)です。2年に1度の大きなイベントですので、事前の準備も大変でしたが、参加者各々が交流や学習を通じ、県外も含めた単組の現状や課題、そして「当たり前」だったことが実はそうではないことが認識でき、青年部の運動強化に繋がった3日間だったと思つています。

職場の実態・問題・悩みを一人で抱え込むことなく全体で共有し解決していくため、19年も様々な活動を展開してまいります。最後に④ですが、19年は、参議院議員選挙の年です。「政治に無関心でいられても、無関係ではられない」というフレーズがあります。政治は、私たちの生活や仕事に直結しており、特に我々公務員の賃金や労働条件は、法律や条例で定められ、国会や地方議会で決定される仕組みとなっております。

理由を聞くこと、合理化により人員が削減され業務量が増え続ける中、私たち青年層、特に新採用職員は業務経験が少ない中で即戦力として扱われ、疲弊し、メンタルに支障をきたす人が多いというのが印象的でした。これらについて改善ができるよ

う、政治に無関心にならず、選挙の取り組みを通して私たちの声をしっかりと国政に届けましょう。

# 新年のご挨拶



第25回参議院議員選挙  
岸 まきこ  
予定候補  
(立憲民主党)

組合員の皆さん、あけましておめでとうございます。私は一昨年8月以降、全国の職場や単組を回り、組合員の皆さんの声をお伺いしてきました。

その中で、どの職場でも共通しているのは「人員不足」です。この間、政府やマスコミの公務員パッシングなどにより、地方では人員の確保が困難な状況に陥っています。そんな中、昨年は豪雨や地震など多くの災害が発生しました。通常でさえギリギリの人員での運営に加え、災害の対応、復旧に追われ、職員は疲弊しています。その結果、サービス提供が滞る事態も発生しており、実際に被害を受けているのは住民です。十分な人員を確保することが喫緊の課題です。

2019年は政治決戦の年です。4月に行われる統一自治体選挙で私たちの応援する地方議員全員の当選を勝ち取り、その勢いを7月の参議院選挙必勝につなげていただくことが、私たち公務員職場で働くものの処遇改善となり、ひいては住民サービスの向上につながるものであると信じています。

仲間皆さん、ともに頑張りましょう！

明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで健やかに新年を迎えられたことと拝察いたします。

さて、安倍政権は、戦争法の強行、原発再稼働、労働法制改悪等、国民に背を向けた政策を押し進めています。また自治体職場では、給与の総合的見直しや、人事評価制度など、長年積み上げてきた制度が政治の力で捻じ曲げられる一方で、連年にわたる地方行革・定数削減による労働荷重や非正規公務員の激増などの実態が浮き彫りになっています。

こうした政治状況を変えるためには、政治闘争の強化が不可欠です。今年、統一自治体選挙と参議院選挙が行われます。今後の自治体選挙において、自治労組織内・推薦候補を擁立し、数を増やすことが必要です。また、参議院選挙では、私自身、社民党・比例代表予定候補者として議席奪還を果たす決意です。皆様には是非とも全国のご家族や親しい方々へ支援の輪を広げていただきますようお願いいたします。

本年が組合員・ご家族の皆さん方にとりまして、明るい希望の持てる年になりますよう祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。



第25回参議院議員選挙  
吉田ただとも  
予定候補  
(社会民主党)

最後に④ですが、単組によって推薦候補は異なりますが、女性部としても組織内・推薦候補の必勝に向けて取り組んでまいりたいと思います。単組の予算事情により、夏期交流集会や県本部青年部・女性部の学習会にも参加できない単組もありません。基本組織活動へのスタートは青年部・女性部活動であり、特に重要なものと考えておりますので、各単組基本組織での予算措置において特に配慮していただければ幸いです。



青年部  
村越 大輔  
事務局次長

出身単組  
伊達市職労  
組合略歴  
県本部青年部事務局次長 (2018)

二つ目として、職場や単組の課題を持ち寄り、学習と交流から課題の根源である「合理化」へ対抗するための青年女性運動の集大成である

県本部としても、青年部・女性部の運動強化のため、今後も必要な支援を行ってまいりますので、よろしくお祈りいたします。



青年部  
中村 裕輔  
副部長

出身単組  
須賀川市職労  
組合略歴  
県南総支部青年女性部事務局次長(2017)、県本部青年部副部長(2018)、単組青年部長(2018)、単組会計(2017~2018)、単組書記長(2019~)

次に②です。オルグや学習会での分散会では、人員不足や長時間労働により、プライベートな時間を確保したいの思いから、多くの単組・総支部活動に参加する仲間が減少・固定化するなどの問題が多く挙げられております。単組や総支部の活動を後押しし、福島県本部女性部の活動を維持・発展させて行くために何ができるのか、女性部常任委員の皆さんや青年部とともに考えながら協力し頑張りたいと思います。

続いて③です。各単組とも、慢性的な人手不足や残業の増加など、各単組が抱える課題は山積していただけていけるように、学習・交流の場を設けて、課題解決に向けて取り組んでいきたいと思っております。

最後に④ですが、参議院議員選挙闘争の取り組みとして、県本部青年部主催の集会などでの呼びかけやポスター設置などを取り組みます。今後も、引き続き青年部活動のサポートをよろしくお祈りいたします。

また、選挙闘争では、自分たちの仕事や勤務・労働条件は法律に基づいて決められることから、自分たちの代表を国政等に送り出していくことの必要性について、若年層に感じてもらおうための情報発信をしていくことを確認しました。

# 新春対談

う、学習や交流を行い、そのうえで単組毎に独自要求ができるようになるよう、サポートできればと考えています。

各単組で悩んでいることの解決方法や、よりよい取り組みを多くの単組に広めていければと思います。最後に④ですが、③と重複する部分でもありますが、今の若年層の中に政治が身近であると感じている人は少ないと思います。しかし私たちが法律に基づいて仕事をしている以上、政治や法律は非常に重要なものであり、これらを決めているのは政治家です。だからこそ私たちの代表を国政に送り出す必要があります。このことを少しでも多くの若年層に感じてもらうよう、学習会や機関紙などで情報の発信を行っていきたく考えています。

飯塚さんからお祈りいたします。

志賀委員長 続いて、青年部村越さんからお祈りいたします。

志賀委員長 続いて、女性部安部さんからお祈りいたします。

志賀委員長 青年部の方々に、次代の運動の担い手として、女性部の方々には男女平等推進の視点からの運動を期待しております。それぞれ、皆さんからお話を伺いましたが、若い組合員の考え方も変わってきており、組合の必要性に対する疑問や運動内容が分からないといった現状があること、人員不足や長時間労働から単組・総支部活動への参加の減少と参加者の固定化、さらには、若年層職員の早期退職が多いことなどの課題も再確認しました。



女性部  
飯塚美由希  
副部長

出身単組  
喜多方市職労  
組合略歴  
県本部女性部常任委員(2016)、県本部女性部副部長(2017~)

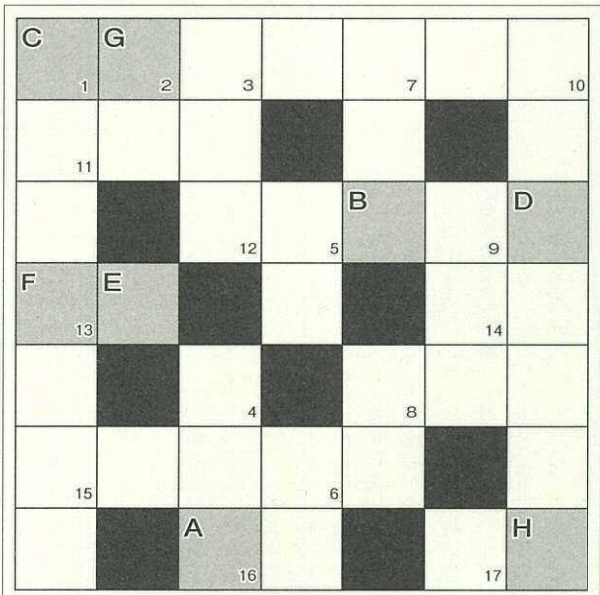


女性部  
安部 恭子  
常任委員

出身単組  
双葉町職労  
組合略歴  
県本部女性部常任委員(2018)



# 新春お年玉クイズ



答え  
A B C D E F G H

■問題  
タテのカギ、ヨコのカギをつないでパズルを完成させてください。  
AからHまでの8つの枠に入った文字を並べると答え(言葉)になります。

## 抽選で豪華景品が当たる!

- 自治労福島県本部賞 ..... 旅行券5万円分 2本
- 全労済自治労共済賞 ..... カタログギフト5千円相当 10本
- 東北労金福島県本部長賞 ... カタログギフト1万円相当 2本
- 全労済福島推進本部長賞 ... 図書カード5千円 4本
- 自治労福島県本部お年玉賞 ... クオカード千円 30本

### ヨコのカギ

- 街頭などで行う人目を引こうとする行為
- 気晴らしや健康のためのウォーキング
- ⇄レフト
- テレビなどの語り手
- 人生〇〇ありゃ、苦もあるさ♪
- 歳月。日月
- 円を押しつぶしたような形
- インクで書く文房具
- 古い都。旧都

### タテのカギ

- パラシュートを背負って離陸・滑空するスポーツ
- ダメ。無効
- ⇄子ども
- ゴルフで競技会
- 花の首飾り
- 都道府〇〇
- 行儀作法
- 四肢は象に似た熱帯地方に住む巨大なほ乳動物
- 街。新興住宅地
- サツマイモで作った甘いお菓子

### 応募方法

- ハガキに、次の内容を明記してご応募ください。
  - ①クイズの答え
  - ②単組名 (県職は支部名)
  - ③職場名
  - ④氏名
- 応募先  
〒960-8042  
福島市荒町 1-21  
自治労福島県本部
- 締切  
2月15日(金)消印有効

## 正月の風習「鏡開き」の行事

鏡開きは1月11日に、歳神様に供えた鏡餅をおろして割り、雑煮や汁粉に入れて食べる行事。鏡割りともいい、「割る」とか、「切る」という忌み言葉避けて、鏡開きという。

これは中国の風習で、元旦に、にかわのように固い餡(あめ)を食べて延命長寿を祝福する儀式が日本に伝わり、宮中の「歯固め」の行事となった。歯は齡(よわい)のこと、のちに鏡餅のような固いものを食べる風習になり、「鏡開き」を行うようになったといわれている。

鏡開きが行われるようになったのは、中世の武士社会になってから。当時、武家では鏡餅を、鏡兜(よろいかぶと)などを取る具足櫃(ぐそくびつ)の上に飾っていたので、具足開きといわれ、雑煮を食べることを「刃柄(はつか)を祝う」といった。また、女性は鏡台に供えた鏡餅を「初顔(はつかお)祝い」と呼んでいた。

もともと、正月20日に行っていたが、徳川三代将軍家光の忌日にあたるので、承応年間から11日の歳開き「新年になり、初めて歳を開き家産の増殖を祝う行事」に合わせ行われるようになり、庶民もこれに習うようになった。今でも地方によって違いがあるが、多くは11日の行事となっている。



### 編集後記

組合員とご家族の皆さま、明けましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのことと思います。

さて、今年の干支は「亥年」ですが、正式には「己亥年」というそうです。

「己」には、旧年の「分化繁栄」したものが、分散しないように統制する意味がある年といわれているようです。また、「亥」には、生命の力が閉じた状態を表しているため、「己亥年」は今の繁栄している状態を維持するよう守りに徹した方がいい年ともいわれているようです。さらに「亥」とされる「猪」の肉には、万病を防ぎ、予防する力があるとの説もあり、「亥年」には「無病息災」の意味もあるようです。守りをしっかりと固めつつも、攻めにも突き進んでいける一年にしたいものです。

## たすけあいの保障 じちろう共済

あけましておめでとうございます

総合共済

長期共済

じちろうマイカー共済

全労済の住みいる共済

団体生命共済

税制適格年金

自賠償共済

介護保障

よりよい保障をご提供できるよう、各種共済の制度改定を実施していきます。

ZENROSAI NEWS 5118V079

ご不明な点があれば、まず組合にご連絡ください。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会  
自治労共済本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合  
全労済は、豊利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください